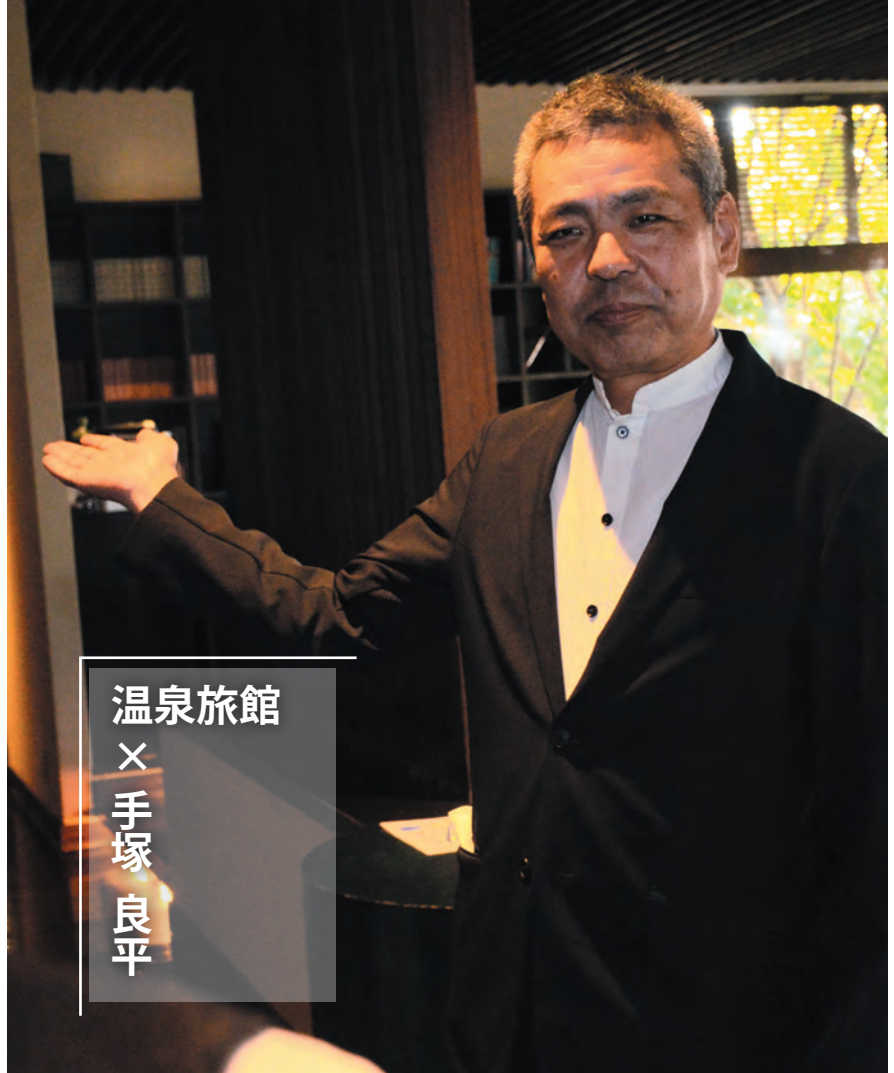




てつか りょうへい
手塚 良平 さん(59)

湯田地区出身。鹿児島市の旅館で修行後、父が営んでいた手塚旅館で働き始める。39歳で社長に就任すると経営方針の刷新とともに施設の全面リニューアルを行い、静寂の中で癒しを堪能できる旅館として全国で人気を得る。現在は長男の優太さんと経営に携わる。



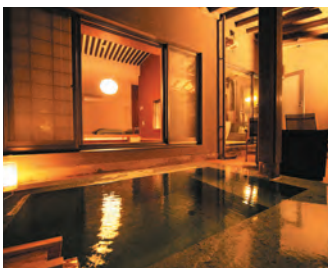
温泉旅館
×
手塚 良平

▼湯田地区の一角にひっそりとたたずむ宮之城温泉手塚 ryokan。閑静な木立を抜け、洗練された館内に足を踏み入れると「いらっしやいませ」とスタッフが笑顔で出迎えてくれます。老若男女問わず幅広い客層にファンを持つ同旅館を切り盛りしているのが、3代目の社長を務める手塚良平さんです。

▼お客様に最高のおもてなしをするため日々邁進する手塚さんは、旅館で働いている社員に対しても誠実さを忘れません。「旅館を経営する上で大切なことは、社員が満足して働ける環境作り」と話す手塚さんは、普段からスタッフに気さくに声を掛ける姿が印象的です。「お客様と社員の喜ぶ姿を見ると、旅館を続けてきて良かったと感じますね」と笑顔を見せます。

▼子どもの頃から家業を継ぐことを決めていた手塚さんは、鹿児島市の旅館で修業した後、父が営む手塚旅館(当時)で働き始めました。以前は団体客をメインに宴会などを請け負う旅館でしたが、時代の流れとともに客数が減少。「このままではつぶれてしまう」と危機感を募らせていた手塚さんは、全国の同業者から成功事例などを熱心に聴き、自分が理想とする旅館を思い描きました。39歳のときに社長に就任すると経営方針を転換する一大決心をします。「静かな空間で地元の資源を活かした癒しを提供したかった」と話す手塚さん。資金調達や建物の改築などに約3年を費やし、宮之城温泉手塚 ryokanとしてリニューアルしました。こだわりの温泉や食事、客室で宿泊客をもてなす同旅館には、国内外から多くの人が癒しを求めて訪れます。

▼旅館を大幅にリニューアルした手塚さんですが、現状に満足することなく2年に1回のペースで数部屋ずつリニューアルを続けています。その中の一部屋を任されたのが、4年前に帰郷し同旅館で働いている長男の優太さんです。「次期社長としてリニューアルした部屋の運営も任せています。これからさらに飛躍してほしいです」と語る手塚さんは、未来の4代目への期待に目を細めます。



こだわりの天然温泉の露天風呂は半数以上の客室にあります